

去る11月22日(火)の表彰朝会で、多くの子が表彰をうけました。  
 今回の表彰朝会は「がんばりノート」を7冊終了した子ども達を表彰しました。なんと、22名の子ども達が年間目標の7冊を終了することができました。日々の頑張りが積み重なった結果なのでしょう。がんばりノートには、お父さん、お母さんのサインやメッセージが書き記されているものが多く見受けられます。親子二人三脚で家庭学習に取り組んでいただき、本当にありがとございます。  
 また、コンクールや大会にチャレンジして、入賞を果たした皆さん、おめでとうございます。

### 国頭地区童話・お話意見発表会

最優秀賞 金城莉玖 (5年)  
 優秀賞 玻名城英汰 (1年)

### がんばりノート7冊達成賞

- |             |          |            |         |
|-------------|----------|------------|---------|
| 1年 よこだゆりな   | ・たからゆきな  |            |         |
| 2年 なかまゆうだい  | ・とうやまたくみ | ・おおしろとよじろう | ・たまなはだん |
| なかまかすと      | ・みやぎとしき  | ・みやざとらじゅ   | ・まきしるか  |
| しろままお       | ・はなしろみゆ  | ・こばやしもも    | ・ひがみら   |
| 3年 じゃはなともはる | ・ひがなおと   | ・あげなけい     | ・たいらりおな |
| なかまひなの      | ・とくもときわ  | ・とうまにいな    | ・とうまさくら |

### 「私たちの文化財」

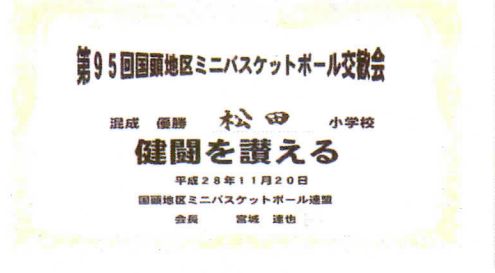
入選 玻名城未夢 (2年)

### おめでとうございます！

### 第95回国頭地区ミニバスケットボール交歓会 優勝



写真4 表彰朝会の様子



## 「ようこそ先輩」 當眞洋一 氏の講話

今日、2校時に日本翻訳家協会の當眞洋一氏をお招きし、「ようこそ先輩」の講話をしていただきました。

當眞洋一氏は、幼い頃にダバオで過ごし、戦後、日本(大分県野津市)に帰郷し、その後やっと父の故郷である松田へと帰郷しました。松田小学校を卒業し、新制中学校である宜野座中学校に自分で作った机椅子を持参しての入学だったそうです。

生徒会長だった當眞氏が、学校の予算を使って那覇まで行き必要な本を購入し、音楽室の片隅に図書館が作られたことが印象に残っているとのことです。1952年には、宜野座高校に入学し、JRC全国大会(東京開催)に沖縄県を代表して派遣されたことをきっかけに東京で勉強したいという気持ちが募り、3年生のとき、一ツ橋高校に編入学しました。その後、早稲田大学第一政治経済学部政治経済学科に入学し、卒業後は、琉球米国民政府渉外報道局に入り、その後ハワイ大学の留学を経て、毎日新聞東京支社に入社し、英字新聞に携ることとなります。1988年には毎日新聞を退社し、文京女子短期大学教授に就任し、定年退職までその職を全うしました。

沖縄に戻り、名護市国際交流開会館の館長を2年努めたのちに、名護市の語学教育総括官に就任し、2006年にその職を辞しました。

その中で、大切に思うことは、時間を無駄にしないことと、自分の母国語である国語を大切に学習すること・特に書くこと、作文等をしっかりと書き豊かな表現を身に付けることと、お話なさっていました。また、書くためには、その基本である本を読む事が必要であり、読書の幅を広げてほしいともお話されていました。

40分の長い間、全児童が静かに話を聴く態度に、當眞氏は感嘆されていました。さらに全児童を代表してお礼を述べた、大城一葉くんのその内容に「とっても、素晴らしい内容です。私の話をしっかりと聞いて、自分で考えることができましたからこそお話できないようです。上手だったと伝えてください。」と感想を述べられました。



写真5 講話の様子

當眞さん、子ども達のために、ご講話いただき、本当にありがとうございました。